



No. 209

昭和42年6月1日発行

昭和35年6月21日

第三種郵便物認可

毎月1日回發行

焼津市新屋63
焼津市役所始
秋原印刷
シブヤ印刷工芸社

順調に進む… 大動脈…高速自動車道路工事



写真説明

東名高速道路の市内で一番高く、高架で新幹線を越えるその工事現場（市内小柳津にて）

☆ 昭和四十一年度一般会計予算の一七〇余を占める土木費、二億の経費は街の将来発展のための都市計画事業や、市道を中心とする道路改良、あるいは新設、また河川改修などにいわゆる土木事業に費やさるものです。今は昭和四十四年四月開通を目指して東名高速自動車道路もすでに今月一☆

☆ には日本坂トンネル貫通という地點に達したので、この高速道路開通する市道の整備計画を中心にして、☆ た、道路改良について具体的に記してみました。

市町村道は、高速自動車道路としての使命を持つことは異なり、これらを補佐して機能を助長するとともに、地方的な道路網を構成して、國の産業經濟の動脈としての使命を果すことは、それが最も重要な使命です。

東名高速道路の市内で一番高く、高架で新幹線を越えるその工事現場（市内小柳津にて）

整備状況 (m)				
区分	実延長	改良済	未改良	
全国(市町村)	836,382,000	95,219,000	741,163,000	
焼津市	610,980	56,352	554,628	

巾員別内訳 (m)				
区分	改良済%	未改良%	改良済%	未改良%
全国(市町村)	95,219,000	11.4	401,015,000	54
焼津市	56,352	9.0	337,417	60

路面別内訳 (m)				
区分	砂利道	%	舗装道	%
全国(市町村)	805,527,000	96.3	30,855,000	3.7
焼津市	588,747	95.5	27,512	4.5

東名に関連する道路に… 拍車をかけて道路整備

市町村道は、我が国の大動脈である東名高速道路を基点とした、焼津北大高線の約八五メートルもある道路延長の約八五%をしめているとい

から農作業用道路まで巾員もまちまちで、利用の面でも、巾広いものであります。

全国の市町村は、我が国の大動脈を形成して、その地域住民の生活を直結した生活の基盤をなしてお

うに、焼津駅を基点とした、焼津北大高線の約八五メートルもある道路延長の約八五%をしめているとい

われておりますが、この整備状況

また、駅前改修、あるいは高速道路

は到底満足されるものではありません

道路整備の状況(市町別)をみ

れば、ある意味で、道路の整

備は、駅前改修、あるいは高速

道路の整備は、駅前改修、あるいは

そのままが急遽な市の発展に伴い、ある意味で、道路の整備は、駅前改修、あるいは高速

道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

そのままが急遽な市の発展に伴い、ある意味で、道路の整備は、駅前改修、あるいは高速

道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

高速道路の整備は、駅前改修、あるいは

重点施策の土木事業

するため、現行生産率の整備に最も急務を要するもので、昭和四十一年度も引き続き市政の重責を負うとして取り上げ実施の計画あります。

路面の状況について、その整備率は全国平均の三、七%からやや上通り四、五%であります。がたり、未施工のせんり現状であります。

現在施工中の東名高速自動車道路も順調に工事を進んでおり、昭和四四年四月の共用開始までは、四四年四月の共用開始までは、未施工のせんり現状であります。

現在施工中の東名高速自動車道路も順調に工事を進んでおり、昭和四四年四月の共用開始までは、未施工のせんり現状であります。

